グループビジョン2030 ｜ 3つの注力フィールドにおける目標と実績

注力フィールドと目指す姿	社会へのアウトカム（成果）	2030年の目標	指標（KPI）		具体的施策	2025年度実績
安全安心リモート社会 **「安全安心の新しい価値を創出」** 全ての人々が豊かで安全かつ安心して暮らせる社会を、リモート技術で創る	● 低侵襲で高度な**ロボット内視鏡手術による患者のQOL（Quality of Life）向上** ● **遠隔手術**による医療の**地域間格差の解消** ● 医療および介護従事者の負担軽減 ● 生産性向上・労働力不足の解消 ● **働き方改革** ○ 時間の融通 ○ 3K作業からの脱却 ○ 実作業を伴うリモートワーク ● **労働力の確保** ● **全ての人々に社会参加の場を提供** ● 避難している方々の生活支援（生活の質の向上） ● より**多くの命を救う**	● **グローバル**に広く**手術支援ロボット**を提供し、多数の手術に使用されている状態 ● **手術支援ロボット**を使用した**遠隔手術の実用化** ● **国内約200万人の医療・福祉関係者の不足**（市場規模は1兆円以上と想定）の5%解消 ● **国内約400万人の製造業・サービス業等の働き手不足**（市場規模は2兆円以上と想定）の5%解消	(a) **手術支援ロボットによる年間症例数／累計症例数** (b) **遠隔手術**の開発マイルストーンの着実な達成 (c) リモートプラットフォームのアクティブユーザー数		● **操作性改善・機能向上**による使いやすい**手術支援ロボット**の実現 ● **グローバル展開に向けた各地域における販売承認の取得** ● **手術支援ロボット**による**遠隔手術の実証実験の実施** ● 介護ロボットの病院への導入 ● リモートによるパーソナルケア製品の市場投入 ● 倉庫や各種店舗向けロボットの開発と実装 ● ヒューマノイドロボットの実用化 ● 工場における遠隔ロボットを用いた実作業 ● ドクターヘリの納入 ● 非常用発電設備の納入 など	● 手術支援ロボット「hinotori™サージカルロボットシステム」（製造販売元：株式会社メディカロイド） ○ 2026年3月末時点累計17,000症例、累計110台設置 ○ フランス・ストラスブールと日本を結ぶ超長距離での国際遠隔手術実証に成功 ○ マレーシアおよびシンガポールで販売承認を取得し海外展開を加速 ● 介護における行動計測・データ分析を活用した介護業務支援サービス事業を推進 ○ AMED「介護DXを利用した抜本的現場改善事業」に採択 ○ 介護テクノロジーの導入効果・投資効果を定量評価する「介護DXパッケージモデル」を開発 ○ 認知症の方との会話や見守りを支援する介護施設向けソーシャルロボットの開発に着手 ● 「Remolink Builder」および「Remolink™」の提供を継続し、パートナー企業との連携を拡充 ● 介護・医療業務支援サービスを全国14施設で展開し、受注拡大。経済産業省、厚生労働省、神戸市等の補助事業に採択 ● 屋内位置情報サービス「mapxus Driven by Kawasaki™」を医療・介護施設等へ展開し、人・モノの動きの可視化と業務改善を推進
近未来モビリティ **「新しい輸送システムで人とモノの移動を変革」** 人やモノが安全で素早く効率良く移動できる社会を、新モビリティで創る	● 増加する物流量に対応し、**労働力不足を解消** ● 安全な労働環境の提供 ● 人・モノが環境にやさしく、安全に移動できる社会の実現 ● **シームレスな都市交通の実現** 人・モノの移動の高速化・効率化 ● **交通渋滞と物流遅延の解消** ● **災害に強い街づくり** 緊急物資の早期輸送など	● **物流における人手不足**（国内約20万人）の20%解消 ● **新モビリティの事業化** ○ 配送ロボット ○ 無人ヘリコプタ ○ 自律四輪 ○ サプライチェーン最適化サービス など ● 海上輸送の自律化（MARICOプロジェクト※） ※ Marine Collaboration Project ● **スーパーシティ・プロジェクトへの参画**	(a) 無人ヘリコプタのユーザー数、総輸送量 (b) 配送ロボットのユーザー数、総輸送量		● **物流チェーン最適化** Phase 1 ○ 輸送・荷役機器の自律化（ラストワンマイルまでを含む自律化） Phase 2 ○ サプライチェーン（接続点のシームレス化：積荷載せ替えをシステムを含めて効率化） ○ 2030年までに海外展開 ● **新モビリティ** ○ 2025年までに配送ロボットの事業化 ○ 2030年までにVTOLの運用、統合輸送サービス事業の本格化 など ● **スーパーシティ実現** ○ 自治体と連携したスーパーシティ構想への参画（人の移動も含めた都市交通の全体最適） ○ 人・モノの移動全体を管理するシステム（地域内MaaS）を構築。当社グループ他事業と有機的に連動 ○ ロジスティクス会社やソフトウェアの会社と相互の協力関係を構築	● 無人ヘリコプタ「K-RACER」について、送電鉄塔向け物資輸送に関する協業検討の合意書を締結し、国内で目視外飛行の許可を取得 ● 「K-RACER」を活用した送電鉄塔向け物資輸送の実証試験・デモフライトを実施し、荷吊りから荷降ろしまでの一連の飛行に成功 ● 大阪・関西万博で新感覚オフロードパーソナルモビリティ「CORLEO」を初披露し、製品化に向けた開発に着手 ● 屋内配送ロボット「FORRO」を病院等へ展開し、13病院等で導入され、稼働中。新型量産機の開発にも着手 ● ヘルスケアテック議員連盟総会での提言や国際シンポジウムの開催を通じ、介護施設・医療機関、機器メーカー等との共創体制を構築
エネルギー・環境ソリューション **「クリーンエネルギーの安定供給に向けて」** 低コストで安定した脱炭素社会を早期に実現する	● **水素エネルギーの価格低下** ● **CO_2排出削減による気候変動対応への貢献** ● **陸海空におけるクリーンな移動・輸送手段の提供** ● CO_2排出削減による気候変動対応への貢献 ● バリューチェーンにおける環境負荷の低減	**水素** ● 液化水素サプライチェーン商用化実証の完遂 ● 国産水素の活用開始 **現有製品** ● より環境に配慮した製品の製造 ● トランジション期に対応する水素Ready製品の拡充 ● 製品からのCO_2排出量の削減	**水素** (a) 当社ソリューションによる水素導入量 (b) 当社ソリューションの水素エネルギーによるCO_2削減量 **現有製品** (a) 製品貢献によるCO_2排出量の削減効果 (b) Kawasakiエコロジカル・フロンティアズ（旧グリーン製品）の登録製品数・売上収益		● 川崎LH_2ターミナル（受入基地）の整備推進と、水素輸送需要に応じた液化水素運搬船の市場投入 ● 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）助成事業を活用した水素利活用技術の実証拡大と、水素プラットフォームを活用した低炭素水素の価値向上 ● 液化水素サプライチェーンの商用化に向け、国内外パートナーとの連携を拡大し、事業化検討を具体化 ● JH2Aなど、業界団体を通じた産業横断的連携およびモビリティを起点とした水素需要の創出を推進 ● ハイブリッド、電動モーターサイクル／オフロード四輪車の量産化 ● 舶用ハイブリッド推進システム／電気推進システム納入 ● 省エネルギー型二酸化炭素分離・回収システムのパイロットスケール実証試験を開始（関西電力） 📖 このうち「CO_2排出ゼロに向けた取り組み」の詳細は➡P.47-50をご覧ください	**水素** ● 液化水素サプライチェーン商用化実証に向けて、川崎市扇島において、世界最大50,000m³液化水素貯蔵タンクを擁す受入基地の建設開始 ● 世界最大40,000m³液化水素運搬船の造船契約を締結 ● 日独双方の水素社会実装に向けて「日独連携水素サプライチェーン構築に向けた覚書」を締結 ● 世界初の舶用水素エンジンの陸上運転に成功 ● 水素液化プラント向け遠心水素圧縮機の実証運転を開始 **現有製品** (a) 製品貢献によるCO_2排出量の削減効果：約1,488万t-CO_2 (b) Kawasakiエコロジカル・フロンティアズの登録製品数：64件、売上収益：2,320億円